

## START プログラム募集要項（平成 27 年度後期）

- 第 28 回 ～オーストラリアの多文化社会～
- 第 29 回 ～アメリカの大学，社会と文化～
- 第 30 回 ～ベトナム戦争の痕跡とホーチミン市の発展を体感する～
- 第 31 回 ～ニュージーランドー自然との共生社会ー～
- 第 32 回 ～タイ・バンコクで考える，グローバル社会におけるキャリアデザイン～

### 1. START プログラムとは

START（スタート）プログラムの目的は、海外経験の少ない新入生を対象に、海外の大学やその周辺都市を訪問し、日本と異なる文化や環境を体験する機会を提供し、国際交流や留学への関心を高めるきっかけをつくることです。また、START プログラムでは、参加費用の一部を広島大学基金及び広島大学から補助することで学生の経済的負担を減らし、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げることを目指しています。

### 2. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」(2 単位)

START プログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ」として実施しています。参加が決まった学生は、自動的に上記科目に履修登録され、成績評価を受けて、単位を修得できます。このプログラムは、広島大学の学生をグローバル人材として育成することを目指しており、以下のグローバル・コア・コンピテンシー（世界で通用する人材として必要となる能力）を向上します。

#### START プログラムで育成するグローバル・コア・コンピテンシー

- (1) コミュニケーション能力（国際的対話能力）
- (2) 自己管理能力
- (3) 成果を出す能力
- (4) 連携とネットワーク
- (5) 個性と文化の尊重

グローバル・コア・コンピテンシーは渡航前・渡航中・帰国後の 3 回にわたって自己評価を行い、行動計画を立てます。そして、担当教員のフィードバックをもとに行動計画を練り直し、実行に移します。成績評価では、参加態度・海外研修時の発表・帰国後のレポート等に基づき、総合的にグローバル・コア・コンピテンシーの向上を評価します。

「海外フィールドスタディ」については、My もみじに掲載されているシラバスもご参照ください。

### 3. 第 28～32 回 START プログラム共通項目

- a) プログラム内容： 広島大学の海外協定大学で 2 週間、現地大学教員による講義やワークショップ、現地公用語の語学授業、現地学生との交流、大学周辺及び周辺都市でのエクスカッションなどを行います。また、きめ細やかな事前研修・事後研修を通じて現地での体験をより効果的に吸収し、ふりかえり、内化するプロセスをサポートします。
- b) 対象学生： 学部 1 年生 \* 応募資格については 2 ページに別途記載
- c) 募集人数： 第 30 回（ベトナム）及び第 32 回（タイ）は各 24 人  
第 28 回（オーストラリア）、第 29 回（アメリカ）及び第 31 回（ニュージーランド）は各 30 人
- d) 最少催行人数： 第 30 回（ベトナム）及び第 32 回（タイ）は各 12 人、  
第 28 回（オーストラリア）、第 29 回（アメリカ）及び第 31 回（ニュージーランド）は各 15 人

- e) 学生負担費用： プログラム参加費（第30回（ベトナム）及び第32回（タイ）は一人7万円，第28回（オーストラリア），第29回（アメリカ）及び第31回（ニュージーランド）は一人10万円），海外旅行保険料（大学指定のもの，約9千円），パスポート申請費（5年用11,000円），日本国内交通費，現地交通費，お小遣い（食費含む）など
- ※ プログラム参加費は，全体費用（航空券，査証（ビザ）申請料，宿泊費，プログラム費，一部の食事代）の一部に充当されます。
- ※ JASSO 海外留学支援制度（短期派遣）の支給要件を満たす方には，第28回（オーストラリア），第30回（ベトナム），第31回（ニュージーランド）及び第32回（タイ）では一人7万円，第29回（アメリカ）では一人8万円が奨学金として支給されますが，本奨学金は全体費用の一部に充当させていただくため，奨学金支給後に，その同額を広島大学へお振り込みいただくことをご了承願います。
- f) その他： 本プログラムは，事前学習・事後学習を含むすべての行事に参加することが参加の条件です。また，研修終了後にレポートの提出及びプログラム評価への協力が義務付けられています。

#### 4. 第28～32回 START プログラムの概要及び研修先の紹介

10 ページ「平成27年度後期実施 START プログラム一覧」をご参照ください。

#### 5. 応募資格（選考基準）

- a) 広島大学に正規生として在籍する学部1年生（所属学部は問わない）
- b) 国際交流や留学に高い関心を持っており，参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること
- c) 事前学習・現地研修・事後学習のすべてに参加し，真剣に取り組むことができること
- d) プログラム終了後，事業評価や広報活動に全面的に協力できること
- e) 13歳以後から広島大学入学前までの間に，31日以上連続した海外渡航・在住経験がないこと  
※13歳未満及び広島大学入学後の海外渡航・在住経験は不問とする。ただし，申請時には過去すべての海外渡航歴を記入すること。
- f) 過去に START プログラムへの参加経験がないこと
- g) 英語力及び広島大学 GPA を審査項目の一つとする。ただし，広島大学 GPA については，最低合格基準点は設けない

#### 6. 選考方法

応募者数の多少に関わらず，書類審査及び面接による選考を行う。

#### 7. 募集から研修終了までの予定

\* このプログラムの参加学生は，下記の行事すべてに参加できることが条件です。

\* 下記の予定はやむを得ない状況などにより，予告なく変更することがありますので，予めご了承ください。

2015年	
10月23日(金)	募集要項公開
10月27日(火)18:10-18:40	募集説明会開催
10月30日(金)12:10-12:40	(10/27・11/2:総合科学部 L102 教室, 10/30:総合科学部 K313 教室)
11月2日(月)12:10-12:40	※3回とも同じ内容ですのでいずれかにご参加ください
10月28日(水)10:00-	<b>重要</b> オンラインフォーム入力受付期間(時間厳守)
11月9日(月)13:00	☞ 11/9(月)13時を過ぎると申請書が作成できなくなるので，時間に余裕をもって入力してください。

11月10日(火)12:00-17:00	応募書類受付期間(時間厳守)
11月11日(水)10:00-17:00	☞ オンラインフォーム入力で作成した申請書及び必要書類を、学生プラザ 3F 国際交流グループ(特設受付)へ提出
11月12日(木)10:00-15:00	
12月3日(木)12:00まで	書類審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
12月4日(金), 7日(月)	面接審査(☞詳細は p.7)
12月10日(木)17:00まで	面接審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
12月11日(金)18:00-20:30 (17:30 受付開始)	初回合同オリエンテーション【全員】 (総合科学部 L102 教室) * 今後の手続き説明など
12月14日(月)18:10-20:00	海外渡航リスク管理セミナー (法・経 257 教室, 霞地区は医学部第5講義室)
12月16日(水)-22日(火)	A型肝炎予防接種 1回目【ベトナム及びタイ】(指定病院)
12月17日(木)18:00-20:30	事前講義①【ニュージーランド】(法・経済学部 152 講義室) * 講義後に顔合わせ、勉強会日程調整など
12月17日(木)18:00-20:00	国別オリエンテーション【タイ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3) * 顔合わせ、勉強会日程調整など
12月18日(金)18:00-20:30	事前講義①【オーストラリア】(法・経済学部 251 講義室) * 講義後に顔合わせ、勉強会日程調整など
12月18日(金)18:00-20:30	事前講義【アメリカ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3) * 講義後に顔合わせ、勉強会日程調整など
12月18日(金)18:00-20:30	国別オリエンテーション①【ベトナム】(総合科学部 L101 教室) * 顔合わせ、勉強会日程調整、予防接種の説明など
2016年	
1月7日(木)17:00	パスポート提出〆切【全員】
1月8日(金)18:00-20:30	事前講義/ワークショップ①【タイ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
1月14日(木)18:00-20:30	事前講義②【オーストラリア】(法・経済学部 152 講義室)
1月14日(木)18:00-20:30	事前講義【ベトナム】(総合科学部 L101 教室)
1月14日(木)18:00-20:30	事前講義②【ニュージーランド】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
1月15日(金)18:00-20:30	事前講義/ワークショップ②, テーマ別グループ発表①【タイ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
1月18日(月)~23日(土)	A型肝炎予防接種 2回目【ベトナム及びタイ】(指定病院)
1月22日(金)18:00-20:30	グループ発表【アメリカ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
1月22日(金)18:00-20:30	国別オリエンテーション②【ベトナム】(総合科学部 L101 教室)
1月25日(月)18:00-20:30	国別オリエンテーション【ニュージーランド】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
1月26日(火)18:00-20:30	国別オリエンテーション【オーストラリア】(法・経済学部 251 講義室)
2月10日(水)18:00-20:30	渡航前合同オリエンテーション【全員】(教室未定) * 前半は全体で、後半は国別で実施予定
2月19日(金)~3月7日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【オーストラリア】
2月20日(土)~3月6日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【アメリカ】
2月22日(月)9:00-12:00	事前講義/ワークショップ③, テーマ別グループ発表②【タイ】(学生プラザ 4F 多目的室 1~3)
3月2日(水)~3月16日(水)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ベトナム】
3月11日(金)~3月28日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ニュージーランド】
3月13日(日)~3月27日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【タイ】
3月23日(火)13:00-16:00	事後研修【アメリカ】(教室未定)
3月25日(金)13:00-16:00	事後研修【オーストラリア】(法・経済学部 251 講義室)
3月30日(水)13:00-16:00	事後研修【ベトナム】(教室未定)
4月上旬	事後研修【ニュージーランド】(教室未定)
4月上旬	事後研修【タイ】(教室未定)
9月30日(金)17時まで	現地研修終了後に学内外で受験した英語能力試験(TOEIC, TOEFL, IELTS, 英検等)のスコアを証明する書類の写しの提出期限

## 8. 応募方法

応募は、下記の手順で① オンライン申請と② 応募書類提出の両方を行うことにより完了します。オンライン申請をしても応募書類を期限までに提出しなければ、応募完了とはみなしません。

なお、今回は、第28～32回（オーストラリア、アメリカ、ベトナム、ニュージーランド、タイ）の参加者の募集・選考を同時に行います。派遣先は第2希望まで申し込み可能です。志望理由（1000文字以内）には、第1希望・第2希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。ただし、英語圏の国（オーストラリア、アメリカ、ニュージーランド）同士の併願はできません。非英語圏の国（ベトナム、タイ）は、英語圏の国または非英語圏の国との併願も可能です。

### ① オンライン申請

**受付期間： 2015年10月28日（水） 10:00～11月9日（月） 13:00**

※ オンラインフォームは上記の期間中、下記のページにてリンクを公開します。

もみじ Top>学びのサポート>留学>START プログラム

URL : <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/start.html>

※ 必ず事前に本募集要項5ページ「参加申込書入力時の注意事項」及び6ページ「入力項目一覧」を確認し、あらかじめ入力に必要な情報を準備しておいてください。

※ 上記受付期間外の入力は無効になるため、時間に余裕をもって入力してください。

### ② 応募書類提出

**受付期間： 2015年11月10日（火） 12:00-17:00**

**11月11日（水） 10:00-17:00**

**11月12日（木） 10:00-15:00**

**受付場所： 学生プラザ3F 国際交流グループ（特設受付）**

**提出方法： 下記1～5の書類を揃えて、上記受付期間内に応募者本人が提出しに来てください。**

期間外の提出は一切受け付けません。必要書類が揃っていない場合も受け付けません。

**提出書類：**

1. **【全員】第28-32回 START プログラム申込書**（オンライン申請完了後、PDF（2ページ）をダウンロードし A4 用紙に片面印刷 ▶ 1ページ目の右上にボールペンで署名と提出日を記入して提出）

2. **【全員】成績表**（取得方法：「もみじ」にログイン ▶ 成績 ▶ 確定成績確認 ▶ 表示範囲「過去を含めた全成績」、表示させる成績「全て」にチェックし、PDF出力をクリック ▶ PDFをA4用紙に印刷）

3. **【該当者のみ】英語能力を証明する書類のコピー**（英検合格証、TOEIC、TOEFLやIELTSのスコアレポートなどのコピー）

※ 学内で実施された今年度第1回のTOEIC（IP）（5/16（土）の本試験及び5/30（土）の追試験）を受験した学生は証明書類の提出は不要です。

※ 上記以外に各自で受験したスコアを使用したい場合のみ、スコアレポートのコピー（A4用紙）を提出してください。ただし、広島大学で今年度第1回のTOEIC（IP）を受験した学生は、広島大学入学前のスコアは使用できません。

4. **【該当者のみ】これまで取得したパスポート（本体）の提示（すでに失効しているものも含む）**

※ パスポートを取得したことのない学生は不要です

5. **【全員】学生証の提示**（本人確認のため）

## 参加申込書入力上の注意

- a) 入力には必ずパソコンを使用してください。スマートフォン、タブレット端末は使用できません。
- b) オンライン入力を始める前に、この募集要項末尾に掲載している入力項目リストを確認し、志望理由書やパスポートの情報など、入力に必要な情報をすべて準備してください。途中でやめた場合、入力内容は保存されません。特に、志望理由書はスペースを含め 1000 文字までしか入力できませんので、あらかじめ Microsoft Word 等を使用して下書きを作成し、文字数を確認しておいてください。
- c) 確認画面で「同意して申込み」ボタンを押した後、入力フォームに戻ることは出来ません。よく確認して送信してください。必須項目に記入漏れがある場合は「同意して申込み」ボタンが表示されません。
- d) 一度入力・送信した後に、再度入力・送信を行うと、複数のデータが登録されます。その場合は、窓口での提出の際に、複数回送信した旨と、何月何日の何時に入力したものを申請に使用するのかを申告してください。
- e) 確認画面のあとに、PDF をダウンロードして終了する画面が出てきます。**ダウンロード**と**終了**の2つのボタンがありますが、必ず**ダウンロード**ボタンをクリックしてください。ダウンロードした PDF は必ず自分のパソコンに保存してください。万が一 PDF を保存せずに**終了**してしまった場合は、再度入力はせず、窓口にご相談にきてください。
- f) 国籍を複数有している場合は全てを記載してください。
- g) 海外渡航経験がある場合は、過去全ての渡航経験について期間・国名・目的を記入してください。
- h) 電話番号とメールアドレスは、必ず連絡のつくもの、毎日確認するものを記入してください。日常的に使用している PC メールが無い場合は、広大メールアドレスを記入し、今後これを確認するようにしてください。
- i) 保護者または保証人の E-mail アドレスは使用しているものがある場合のみ記入してください。
- j) 渡航中の連絡先は、主に渡航中の緊急時に使用するものですので、必ず連絡のつく電話番号を記入してください。
- k) 健康面などで特別なサポートが必要な場合は、健康状態の欄に出来るだけ具体的に記入してください。
- l) 申込み・参加にあたり懸念事項がある場合には、特記事項欄に記入してください。
- m) オンラインフォームを入力しても、窓口への提出をするまで申込みは完了しませんのでご注意ください。
- n) 入力した項目に事実と異なる記載があれば、いかなる理由においても失格とみなします。万が一、参加決定後にこのような事態が発覚した場合には、その時点で参加資格を失いますので、よく注意してください。特に過去の渡航歴等においては、各自でよく確認しておいてください。

## オンライン申込みフォーム 入力項目一覧

1. 申請するプログラム (第1希望, 第2希望)

2. カナ氏名

3. 漢字氏名

4. ローマ字氏名

5. 学部・学科

6. 学生番号

7. 生年月日

8. 性別

9. 国籍

2~8 の項目については、学籍番号に基づいて自動的に入力されますので、確認して下さい。また、「ローマ字氏名」が学籍で登録されている綴りとパスポートの綴りと異なる場合は、パスポートの綴りに合わせて入力し直して下さい。

10. 海外渡航経験の有無 ※有りの場合は出来るだけ詳しく書いてください。(国・期間・目的など)。

例：「1999年5月1-3日(3日間)家族旅行・マレーシア」

11. 英語能力

○5/16 または 5/30 に大学で受験した TOEIC IP テスト (第1回) の成績を使用することに同意します。

○5/16 または 5/30 に大学で行われた TOEIC IP テスト (第1回) 以外のスコアを使用したいため、語学能力を証明する別の資料を提出します。

\* 語学能力を証明する資料の詳細

例：「TOEIC 公式テスト 2015年8月10日受験 530点」, 「英検2級 2015年9月合格」

○5/16 または 5/30 の TOEIC IP テストを受験しておらず、語学能力を証明する別の資料もありません。

12. パスポートの有無 (すでに失効したものも含む)

※有効なものがある場合は、有効期限とパスポート番号を記入；失効したものがある場合は失効日を記入

13. 健康状態 ○良好 ○配慮が必要 ○アレルギーなど

14. 現住所

15. 電話番号 (携帯)

16. メールアドレス (携帯)

17. メールアドレス (パソコン)

18. 保護者または保証人氏名, 続柄

19. 保護者または保証人住所

20. 保護者または保証人電話番号

21. 保護者または保証人メールアドレス

22. 渡航中の緊急連絡先電話番号

23. その他, 特記事項

24. 面接予定日の授業の有無 ※授業以外の事由による面接日時の調整はできません

25. アンケート：START プログラムを何で知りましたか？

26. 志望理由書 (このプログラムに参加して学びたいこと、経験したいことは何ですか？また、その学びや経験を、今後どのように生かしていきたいですか？第1希望・第2希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。(1000文字以内：スペースを含む))

27. START プログラム申込みにあたっての注意事項同意確認

「上記、記載事項はすべて事実と相違ありません。事実と異なる記載をしたことが判明した場合、参加資格を失うことを了解しています。また、第28-32回 START プログラム募集要項をよく読み、プログラム内容及び注意事項をすべて理解し、同意しています。」

※ 入力した内容を再度確認してから、「同意して申込み」ボタンを押してください。

※ この申込書に入力していただく個人情報は、START プログラムの運営のために利用するものであり、この目的以外で利用したり第三者へ提供したりすることはありません。

## 11. 選考方法と結果の発表

- a) 書類審査の結果は2015年12月3日(木)12:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡しますので、各自で確認してください。万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。
- b) 書類審査通過者は、面接を行いますので、必ず指定された日時の面接に出席してください。各自の面接時間は、書類審査の結果と一緒にご連絡します。この面接に出席できない方は、参加することができませんのでご注意ください。

待機場所：書類審査結果通知で確認のこと

日 時：2015年 12月4日(金)16:20~20:30(アメリカ候補者)

12月4日(金)16:20~19:30(ベトナム候補者)

12月7日(月)16:20~20:30(オーストラリア候補者)

12月7日(月)16:20~20:30(ニュージーランド候補者)

12月7日(月)16:20~19:30(タイ候補者)

} 1人5分程度

面接の結果は2015年12月10日(木)17:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡します。

- c) 選考に合格した方は、必要書類の提出と参加費用の振り込みをもって正式に参加者として決定します。手続きの詳細は、12月11日(金)の初回合同オリエンテーションでご案内します。
- d) 応募者多数の場合、各プログラムにつき5名まで次点候補者(キャンセル待ち)を選出します。
- e) 書類・面接とも審査結果についての問合せ・苦情は一切受け付けませんので予めご了承ください。

## 12. その他注意事項

- a) 必ず保護者または保証人の方の同意を得てから申し込んでください。参加内定後に参加学生および保護者/保証人より同意・誓約書を提出していただきます。
- b) 第28~32回STARTプログラム参加内定者は、2016年1月7日(木)17時までに有効なパスポートのコピーが提出できない場合、参加できません。有効なパスポートをお持ちでない方は、すぐに申請・更新手続きをしてください。どうしても参加が決定するまでは申請するのが難しい場合でも、あらかじめ申請に必要な書類を準備しておいてください。パスポートの申請には、住民票、戸籍抄本など役所から取り寄せなければならない書類や、未成年の場合は申請書に保護者の署名が必要で、実家が遠方の方は必要書類をそろえるのに時間がかかります。また、通常は申請から受領までに8営業日(土日祝・年末年始を除く)かかり、必ず申請者本人が申請した役所の窓口へ受け取りに行く必要があります。詳しくは下記ホームページを参照してください。  
【外務省】[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass\\_2.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html)  
【東広島市】<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/16/passport-uketori.html>  
パスポート取得の遅れにより参加できなくなった場合にも、広島大学は責任を負いません。
- c) 参加者には全てのオリエンテーションと事前講義、リスク管理セミナー、事後研修への出席が義務付けられていますので、2~3ページの予定表に書かれている日程を必ず空けておいてください。自己都合(アルバイトやサークル活動なども含む)によりオリエンテーション、事前講義、リスク管理セミナーに欠席した方は参加を取り消す場合があります。また、STARTプログラム参加決定学生には、参加決定後に各自で英語能力試験(TOEIC等)の目標スコアを設定していただいた上で、現地研修終了後に学内外で受験した英語能力試験のスコアを証明する書類の写しを2016年9月30日(金)までに提出していただきます。
- d) 申請書の記載事項に変更があった場合には速やかに担当者に連絡してください。
- e) 自然災害、国際情勢や航空会社、研修先などの事情により急な中止ならびに変更が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
- f) 参加者には緊急対策として全員、現地で使える携帯電話を各自で準備していただきます。
- g) 第30回ベトナムまたは第32回タイに参加される方は、参加が決まったら、大学の指定する病院で指定された期間に2回、A型肝炎の予防接種を受けてください。この予防接種費用は、大学が負担します。

### 13. Q&A

Q. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」の授業登録をせずに、START プログラムに参加することはできますか？

A. いいえ、できません。参加が決まった学生は国際交流グループにて登録手続きを行います（もみじでの登録はできません）。

Q. 前期 START プログラムに参加しましたが後期にも応募できますか？

A. いいえ、START プログラムは一人一回しかできません。なお、前期に申請して参加できなかった方は、後期に再応募することは可能です。前期 START プログラムの審査結果が後期の審査に影響することはありません。

Q. START プログラムへの参加にあたり、英語力はどのくらい必要ですか？

A. どのプログラムでも英語または現地公用語で教授される講義や研修がありますし、現地の人々と英語または現地公用語で交流する機会が多くありますので、ある程度の英語力及び英語や現地公用語でコミュニケーションを取ろうとする意欲や積極性が求められます。なお、過去の START プログラム参加者の報告書にも、必要な英語力や、語学学習に関するアドバイスが掲載されています。報告書のファイルは、学生プラザ 3F ロビーの留学情報コーナーに派遣大学別に設置していますので、参考にしてください。

Q. 申込書に記入する海外渡航経験に、海外旅行は含まれますか？

A. はい。個人旅行や修学旅行、留学、家族との移住など、海外に渡航した経歴はすべて記入してください。広島大学のプログラムの場合は、プログラム名も記載してください。

Q. 外国籍の学生でも申し込めますか？

A. はい、申し込めます。国籍は問いません。渡航に際しビザ（査証）の取得が必要な場合、各自で責任を持って手続きしてください。ビザ（査証）の取得にかかる費用は参加学生の自己負担となります。

Q. 参加が決めた後、途中で自己都合により参加を取り消した場合、キャンセル料が発生しますか？

A. 原則、パスポート提出期限日以降にキャンセルした場合、返金されません。

Q. 次点候補者（キャンセル待ち）の場合、いつまでに参加できるかどうか分かりますか？

A. キャンセルが出た場合は、各コースのパスポート提出〆切日までにご連絡します。その時点でパスポートを所持していない場合は、権利が次の方に移りますのでご注意ください。

Q. このプログラムに参加すると、交換留学や HUSA のショートプログラム、その他の留学プログラムへの応募の際、影響がありますか？

A. 国際交流グループが担当する留学プログラムについては、原則として、START プログラムへの参加が他の留学プログラムへの妨げになることはありませんが、給付奨学金やプログラム費等の経済支援を伴う短期（1ヶ月未満）のプログラムの場合は、優先順位が下がる可能性があります。各学部等が実施するプログラムについては、それぞれの担当窓口にお問い合わせください。

Q. お小遣いはいくら持っていけばいいですか？

A. 個人差もありますしレートや渡航先にもよりますが、目安としては3-5万円程度あれば十分でしょう。滞在中の食事代もお小遣いの中から支払うことになるので、その費用とお土産代と考えてください。

Q. 第30回ベトナムまたは第32回タイに参加するための予防接種は指定病院で受けなければいけませんか？かかりつけの病院で受けてもいいですか？



A. 指定以外の病院で受けても構いませんが、その場合は費用が自己負担になり、別途、証明書を提出していただく必要があります。

その他、東南アジアへの渡航に際してはB型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

Q. 現地研修終了後に受験する英語能力試験の受験料は自己負担ですか？

A. 現地研修終了後に受験する英語能力試験の受験料は参加学生の自己負担となります。また、授業の一環としてこれらの試験を受験する場合はそのスコアを使用できます。それ以外の場合は、各自で受験したい試験を選んで申込み手続きをする必要があります。

【英語能力試験の例】TOEIC 公開テスト、TOEIC(IP)テスト、TOEFL iBT、TOEFL ITP、IELTS、英検など  
(上記以外の試験の受験を希望する場合は別途相談してください)

<問合せ先>

広島大学教育・国際室 国際交流グループ（学生プラザ3F） 担当：吉永  
TEL:082-424-4346 FAX:082-424-4545 E-mail: [start@hiroshima-u.ac.jp](mailto:start@hiroshima-u.ac.jp)

※申請に関してご不明な点がございましたら、募集説明会の際か、上記問い合わせ先にお気軽にご連絡ください。

※お問い合わせの際は、学年・氏名・ご用件（第何回の START プログラムに関する事か）を明記/明言してください（Eメールには必ず件名・署名を付けてください）。

# 平成27年度後期実施 STARTプログラム一覧

※平成27年10月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学	渡航期間/定員/ 参加費(※注)	主な研修内容(予定)	引率	宿泊場所	研修先大学の紹介	研修先地域・都市の紹介
第28回 オーストラリアの 多文化社会 フレインダース大学 (オーストラリア)	2月19日(金) ～3月7日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 10万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレインダース大学附属語学学校の教員による特別授業</li> <li>オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育</li> <li>フレインダース大学の通常授業への参加</li> <li>フレインダース大学の学生とのディスカッション・交流</li> <li>小學校訪問</li> <li>日本文化紹介プレゼンテーション</li> <li>オーストラリア博物館、ノース・テラス、ランドル・モールド</li> <li>カンガルー島での研修</li> <li>野生動物保護区、リマカプブルロックス、アドミラルズアーズ等</li> <li>全期間ホームステイ</li> </ul>	未定	ホームステイを予定(1人1家庭)	<p>【フレインダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ 1966年に創立されたフレインダース大学の郊外に位置する公立大 学。革新的で質の高い授業と教授法に定評があり、宇宙飛 行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことでも知られていま す。教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学 部、社会学部により構成されており、留学生約4,100名を含む 世界100カ国以上の学生が集まり、留学生約4,100名を含む約 24,000名の学生が学んでいます。(2014年統計による)。広島 大学とは2008年から協定を結んでいます。</p>	<p>【アデレード市】 フレインダース大学の南オーストラリア州は、オーストラリア 中央南部に位置し、アデレード市は人口120万人の州都で、 オーストラリアで5番目に大きな都市です。アデレード市には、 アボリジニに関するコレクショナルが重要な文化施設が集まるノー ース・テラス、アデレード博物館や世界遺産文化施設が集まるノー ース・テラス、アデレードヒルズと呼ばれる美しい丘陵地帯、アデ レード中心部から近い海辺の町グレネルグや、野生動物等が見ら れる景勝地カンガルー島があります。</p>
第29回 アメリカの大学、 社会と文化 ジェームズマディソン大学 (アメリカ)	2月20日(土) ～3月6日(日) (15泊16日) 定員: 30人 参加費: 10万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェームズマディソン大学及び広島大学教員による授業</li> <li>アメリカの社会と文化</li> <li>通常授業への参加、自由研究発表</li> <li>コミュニティプロジェクトへの参加</li> <li>ハリソンパーク周辺地域の施設見学</li> <li>ジェームズマディソン大学の学生と交流</li> <li>ウィントンDC、一日グループ研修</li> <li>全期間100名以上の学生と学生寮に滞在</li> </ul>	外国語教育 研究センター 田北冬子 特任講師 ほか	ジェームズ マディソン 大学寮(現 地学生と ルームメ イトを予 定)	<p>【ジェームズマディソン大学】 http://www.jmu.edu/ 1908年創立の公立大学。「Knowledge is liberty (知識は自 由なり)」のモットーのもと教育が行われています。現在 は、文学部、経営学部、教育学部、科学技術部、科学・教育 部、芸術学部、大学院専門職課程の7つの学部によって構成さ れており、約20,000名の学生が学んでいます。広島大学とは 2006年から協定を結んでいます。</p>	<p>【ヴァージニア州】 ジェームズマディソン大学のあるヴァージニア州は、米国東部に 位置し、首都ワシントンD.C.から2時間の距離にあります。 ヴァージニア州には、歴史ある建物や博物館、美術館などの観光 名所が多くあるだけでなく、シェナンドー国立公園を始めとした 多数の国立公園があり、自然が豊かなことで知られています。</p>
第30回 ベトナム戦争の痕跡とホー ーチミン市の発展を体験する ベトナム国家大学ホーチミン市校人文 社会科学大学 (USSH)、広島 大学バクダイベン (ベトナム)	3月2日(水) ～3月16日(水) (14泊15日) 定員: 24人 参加費: 7万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>USSHの教員による授業</li> <li>ベトナム語入門</li> <li>ベトナムの社会と文化、ベトナムの経済、ホーチミン市の歴史</li> <li>戦争について、ベトナムと広島の戦争と平和</li> <li>日越関係 ほか</li> <li>戦争証跡博物館、統一堂、カンザン自然保護区、 クエントネル、民族村見学</li> <li>工業団地、JICAプロジェクト訪問</li> <li>現地学生との交流、1日ホームビジット、孤児院訪問</li> <li>天然資源大学訪問</li> <li>ホーチミン市内グループ研修</li> </ul>	平和科学研 究センター 小倉理紗美 助教 ほか	大学から往 来圏内の学 生宿舎(2人 1部屋)を予 定	<p>【ホーチミンシティ】 http://en.homush.edu.vn/ ベトナム国家大学ホーチミン市校 (VNU HCMC) の中の専門大 学の一つ。ロシアやポランド、アメリカ、オーストラリアの教 員による18学科500科目の授業が行われています。USSHには日 本学部があり、日本に興味を持って勉強している学生もたく さんいます。2010年11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH 内に開設しました。</p>	<p>【ホーチミンシティ】 ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまではフランス植民地 として栄えたベトナム最大の商業都市です。ワロン市は旧都 時代のコロニアル様式の建物に代わり現在は高層ビルが増えまし たが、市場や裏通りには昔ながらの街並みも残っています。 通りやロータリーにはバイクで賑わっており、経済成長の際 気を感じられる都市です。</p>
第31回 ニューージーランド -自然との共生社会- オークランド大学 (ニュージーランド)	3月11日(金) ～3月28日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 10万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>マオリ文化による歓迎儀式</li> <li>オークランド大学教員による特別授業</li> <li>NZの歴史、教育、文化</li> <li>英語研修</li> <li>現地学生とのディスカッション・交流</li> <li>オークランド大学の通常授業への参加</li> <li>小學校訪問と日本文化紹介プレゼンテーション</li> <li>オークランド市内のNZの歴史・文化に関する施設訪問による研修</li> <li>オークランド市郊外の自然の中でアウトドア活動体験</li> <li>全期間ホームステイ</li> </ul>	教育学研究 科 森田登 准教授 ほか	ホームステイを予定(1人1家庭)	<p>【オークランド市】 http://www.auckland.ac.nz/ 1883年に創立されたオークランド市街に位置するニュージー ランド最大の公立大学。2015-2016年のQS世界大学ランキ ングは82位。国内で最上位の大学です。研究を主導し、その 卓越した教育および社会への貢献で知られています。キャン パスは6つあり、教育、人文、法、経済、経営、芸術、芸術工 学、工、理、神、医学、健康の9学部によって構成され、留 学生6,010名を含む約44,000名が学んでいます(2014年統計によ る)。広島大学とは1979年から協定を結んでいます。</p>	<p>【オークランド市】 ニューージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地区を有 するニューージーランド最大の都市。湖に面した地形から海上交通 が栄え「帆の街」という愛称で親しまれ、港には多数の小 型船舶が停泊し、ハーバークルーズやセイリングが盛んです。 オークランド博物館やホワイティ歴史村と原住民や朝臣、戦 争に関する施設があります。郊外には、オークランド市街と海が 一望できる死火山イーターンヒルやファン・トウリー・ヒル、市街地の 対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートがあります。</p>
第32回 タイ・バンコクで考える、 グローバル社会における キャリアデザイン チュラロンコン大学 (タイ)	3月13日(日) ～3月27日(日) (13泊14日) 定員: 24人 参加費: 7万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>チュラロンコン大学における講義・演習</li> <li>政治・経済の動向や社会・文化の特質と多様性等に関する講義・演習</li> <li>現地学生とのディスカッション・協働</li> <li>タイ語入門講座</li> <li>社会文化施設見学</li> <li>国際機関、企業等訪問による体験学習</li> <li>業界の日系企業、JICAタイ事務所、JETRO及び商工会議所、多様な 業種の日系企業との相談とキャリアデザイン</li> <li>同訪問先で活躍する日本人による異文化の中での職務経歴やキャリア 形成の事例に際するセミナー</li> <li>同訪問先で活躍する日本人による異文化の中での職務経歴やキャリア パスを構築するワークショップ等</li> </ul>	教育学研究 科 桑山尚 同 講師 ほか	チュラロン コン大学 内の宿舎 (1~2人1部 屋)を予定	<p>【チュラロンコン大学】 http://www.chula.ac.th/en/ 1917年に設立されたタイ王国において最も古い歴史をもつ、 タイを代表する名門国立大学。大学名はチュラロンコン 大王(ラーマ5世)に由来。バンコク市街の中心部に広大な キャンパスを有し、19の学部と大学院、その他多数の研究施 設で約4万の学生が学んでいます(2014年統計による)。特 別に、アジア地域最優秀のビジネススクールであるサジソン経 学院は国内外から高い評価を得ています。広島大学とは2003 年から協定を結んでいます。</p>	<p>【バンコク都】 タイ王国の首都であるバンコクは、人口800万人以上を有するタ イの政治・経済・教育・文化の中心地であるだけでなく、近年で はさらにASEAN経済共同体の中核都市の一つとして先進的な国際 都市へと発展を遂げています。日系企業の進出も活発であり、在 留邦人数は外国の都市でも僅かに、東南アジアでは最も多い都市 です。バンコク中心部のラッタナクラシン地区には最も古い歴史 や、町の中心を流れるチャオプラヤ川の景観など、近代化が進 んだ今でも歴史的建造物が残り、古今の歴史と文化が息事に調和 した都市として知られています。</p>

(※注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほか、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、日本国内交通費、現滞交通費、お土産(食費含む)などがかかります。